第14号様式（第８条関係）
（その１）

収　支　報　告　書

（令和　6　年分）

（ふりがな）
1　政治団体の名称
じゆうみんしゅとうふくおかけんりがくりょうほうしれんめいしぶ
自由民主党福岡県理学療法士連盟支部

2　主たる事務所の所在地
福岡市博多区博多駅東2-8-26　第3白水駅東ビル305号

3　代表者の氏名
西浦健蔵

4　会計責任者の氏名
西浦健蔵



連絡先
（担当者）　永野　忍
（電　話）　090-9592-7506

※　事務担当者の連絡先も収支報告書の閲覧等の対象に含まれます。

※選挙管理委員会使用欄

団体コード（備考３）	年分	整理区分		入力	
0 0 0 0 0		期限内 ☑	17② ☐	表紙 ☑	収 ☐
		期限後 ☐	解散 ☐	内容 ☑	支 ☐
					資産 ☐

政治団体の区分
- ☐ 政党
- ☑ 政党の支部
- ☐ 政治資金団体
- ☐ 政治資金規正法第１８条の２第１項の規定による政治団体
- ☐ その他の政治団体
- ☐ その他の政治団体の支部

活動区域の区分
- ☐ ２以上の都道府県の区域等
- ☑ 同一の都道府県の区域内

資金管理団体の指定の有無
- ☑ 無
- ☐ 有

（以下は、指定「有」の場合のみ記入）

公職の種類
（現職・候補者の別）

資金管理団体の届出をした者の氏名

国会議員関係政治団体の区分
- ☐ 政治資金規正法第19条の７第１項第１号に係る国会議員関係政治団体
- ☐ 政治資金規正法第19条の７第１項第２号に係る国会議員関係政治団体

公職の候補者の氏名

公職の種類
（現職・候補者の別）

資金管理団体の指定の期間

年　月　日から
年　月　日まで

国会議員関係政治団体に関する特例の適用期間

年　月　日から
年　月　日まで

必須様式（1/4）

（その2）

1 収支の総括表

収　入　総　額	1,006,769	①+②
（前年からの繰越額）	907,975	①（前年報告書の繰越額）
（本年の収入額） 2 収入項目別金額の内訳 の（1）～（6）の計	98,794	②（本年の収入）
支　出　総　額	88,330	③（その13の合計を記入）
翌年への繰越額	918,439	①+②−③

2 収入項目別金額の内訳

（1）個人の負担する党費又は会費		
金　　額	48,750	
員　　数 （党費又は会費を納入した人の数）	36	

（2）寄附		
ア　寄附（イを除く。）の区分	金　　額	備　　考
（ア）個人からの寄附	0	内訳を（その７）に記入（寄附者の区分：個人）
（うち特定寄附）	0	
（イ）法人その他の団体からの寄附	0	内訳を（その７）に記入（寄附者の区分：法人その他の団体）
（ウ）政治団体からの寄附	0	内訳を（その７）に記入（寄附者の区分：政治団体）
小計（(ア)+(イ)+(ウ)）	0	④
（寄附のうち寄附のあっせんによるもの）	0	
イ　政党匿名寄附	0	⑤
合　計　（ア+イ）	0	④+⑤

（その5）

(5)本部又は支部から供与された交付金に係る収入

交付金を供与した本部又は支部の名称	金額(円)	年月日	主たる事務所の所在地	備　　考
自由民主党福岡県支部連合会	50,000	R6.10.11	福岡県福岡市博多区千代4丁目29-15	県連交付金
この頁の小計	50,000			
合　　計	50,000			

※　政党支部が本部や同じ政党の支部から寄附を受けた場合は、この様式に計上すること。
　公職の候補者の後援会の場合、政党から受けた寄附は様式（その７）に記載すること。（後援会と政党の関係は、本部と支部の関係には当たらない。）

※　「主たる事務所の所在地」欄については、県外にあっては都道府県名から、県内にあっては市郡名から記入してください。
（例）東京都港区〇〇１丁目１－１
神奈川県横浜市中区〇〇２丁目２－２
福岡市博多区〇〇３丁目３－３
糟屋郡宇美町〇〇４－４

本部・支部交付金

（その6）

(6)その他の収入

摘　　要	金 額（ 円 ）	備　　考

この頁の小計	0
1件10万円未満のもの	44
合　　計	44

※　1件10万円以上の収入については、個別に内容を記載し、それ以外のものについては、一括して「1件10万円未満のもの」欄に合算して計上すること。
　なお、預金利子については、同一金融機関の同一種類の預金利子であれば、証書番号が異なっていても、まとめて1件とし、その利子の合計額が10万円以上であれば、収入年月日ごとに内訳を記載すること。

その他収入

（その13）

３　支出項目別金額の内訳

(1)支出の総括表

項　　目	金額（円）	本部又は支部に対して供与した交付金に係る支出	備考（※）	
１　経常経費				
（１）　人件費	0		⑥	「資金管理団体」又は「国会議員関係政治団体」である期間中の支出は、項目（人件費を除く）ごとに様式（その14）に内訳を記載すること
（２）　光熱水費	0		⑦	
（３）　備品・消耗品費	0		⑧	
（４）　事務所費	0		⑨	
小　　計	0		⑩	（⑥～⑨の計）
２　政治活動費				
（１）　組織活動費			⑪	項目ごとに 様式（その15）に内訳を記載すること
（２）　選挙関係費	0		⑫	
（３）　機関紙誌の発行その他の事業費	0		⑬	（ア＋イ＋ウ＋エ）
ア　機関紙誌の発行事業費	0			
イ　宣伝事業費	0			
ウ　政治資金パーティー開催事業費	0			
エ　その他の事業費	0			
（４）　調査研究費	0		⑭	
（５）　寄附・交付金	50,000		⑮	
（６）　その他の経費	38,330		⑯	
小　　計	88,330		⑰	（⑪～⑯の計）
合　　計	88,330			（⑩＋⑰）

※ 支出先が当該団体の本部又は支部であるものについては、項目ごとの額を備考欄に記入し、併せてその内訳を様式（その１６）により報告すること。

☆支出がある場合は、本様式は必須となる。

（その15）

(3)政治活動費の内訳	項目別区分	寄附・交付金／〔寄付〕			
支出の目的	金額(円)	年月日	支出を受けた者の氏名 (団体にあっては、その名称)	支出を受けた者の住所(団体にあっては、主たる事務所の所在地)	備　考
能登半島地震に関する被災者支援募金	50,000	R6. 3. 19	自由民主党福岡県支部	福岡市博多区千代4丁目29-15	

この頁の小計	50,000
その他の支出	0 ~~50,000~~
合　計	50,000

※　この様式は、「国会議員関係政治団体」又は「資金管理団体」である期間中に係る人件費以外の経常経費の支出について記載するものであること。

※　１件５万円以上の支出は、個々の内容（支出の目的、金額、年月日、支払先等）を記載し、その領収書等の写しを添付すること。
ただし「国会議員関係政治団体」期間中の支出については、上記によらず１件１万円超の支出について個々の内容を記載し、その領収書等の写しを添付すること。これら以外の少額の支出については、一括して「その他の支出」欄にその合計額を記載すること。

政治活動費の内訳

（その15）

(3)政治活動費の内訳	項目別区分	その他の経費 〔 雑費 〕			
支出の目的	金額(円)	年月日	支出を受けた者の氏名 (団体にあっては、その名称)	支出を受けた者の住所(団体にあっては、主たる事務所の所在地)	備　考

この頁の小計	0
その他の支出	38,330
合　計	38,330

※　この様式は、「国会議員関係政治団体」又は「資金管理団体」である期間中に係る人件費以外の経常経費の支出について記載するものであること。

※　１件５万円以上の支出は、個々の内容（支出の目的、金額、年月日、支払先等）を記載し、その領収書等の写しを添付すること。
ただし「国会議員関係政治団体」期間中の支出については、上記によらず１件１万円超の支出について個々の内容を記載し、その領収書等の写しを添付すること。これら以外の少額の支出については、一括して「その他の支出」欄にその合計額を記載すること。

政治活動費の内訳

（その17）

資 産 等 の 状 況

1 資産等の総括表

資産等の有無			
資産等の項目別区分	有(※)	無	備　　考
ア　土　　地	□	☑	
イ　建　　物	□	☑	
ウ　建物の所有を目的とする地上権又は土地の賃借権	□	☑	
エ　取得の価額が１００万円を超える動産	□	☑	
オ　預金（普通預金及び当座預金を除く。）又は貯金（普通貯金を除く。）	□	☑	
カ　金銭信託	□	☑	
キ　有価証券	□	☑	
ク　出資による権利	□	☑	
ケ　貸付先ごとの残高が１００万円を超える貸付金	□	☑	
コ　支払われた金額が１００万円を超える敷金	□	☑	
サ　取得の価額が１００万円を超える施設の利用に関する権利	□	☑	
シ　借入先ごとの残高が１００万円を超える借入金	□	☑	

※　有の場合、その内訳を様式（その１８）に記入すること。

必須様式(3/4)

（その20）

宣　誓　書

添付書類（別添のとおり）

☑ 1　領収書等の写し

☐ 2　監査意見書（政党及び政治資金団体に限る。）

☐ 3　政治資金監査報告書（国会議員関係政治団体に限る。）

この報告書は、政治資金規正法に従って作成したものであって、真実に相違ありません。

宣誓日
令和　7　年　3　月　14　日

政治団体の名称　自由民主党福岡県理学療法士連盟支部

会計責任者の氏名　西浦健蔵

※ 以下は**解散日の属する年の収支報告書（解散届に添付する収支報告書）のみ記入**すること。

代表者の氏名　　印

（備考）「会計責任者の氏名」欄には、記名押印又は署名をすること。なお、署名の場合には、必ず会計責任者本人が自署すること。
解散する年の収支報告書である場合には、「代表者の氏名」欄にも記名押印又は署名をすること。なお、署名の場合には、必ず代表者本人が自署すること。
宣誓日は、必ず記載し提出すること。

必須様式（4/4）